

開催報告：平成26年度松山大学図書館情報学講演会の開催

司書課程担当
早瀬 均

松山大学司書課程研究室では、例年実施している標記講演会を平成26年12月16日(火)に開催した。本年度は、講師に東京外国語大学学術情報課長の茂出木理子氏を迎え、「公共図書館と大学図書館の連携協力～大学図書館の地域貢献～」という演題で講演をしていただいた。また、例年と同じであるが、司書課程の授業の一環として実施した。開催が平日の午後であったが、講演会には、県内外の図書館関係者、一般市民及び司書課程受講生等約50名の参加者があった。



茂出木氏は、講演のなかで「図書館とはなにか」と再三問いかけつ

つ、豊富な引用や事例、統計をあげて、従来の図書館及び図書館サービスの在り方及び現在の連携協力の状況並びに新たに出現しつつある図書館活動・サービス等について多面的に紹介された。その中で、公共図書館と大学図書館は共通機能を有しながらもそれぞれ固有の機能をもっていること、現在は共に新たな在り方を模索中であり、これからの連携協力は、「これまでのサービスの延長線上」ではなく、転換期であることを踏まえて考える必要

があること等を示された。講演内容の詳細については、講演記録及び講演資料をご覧いただきたい。



もう一つ今回の講演会からはじめてのが講演会後の意見交換会であった。講演会参加者の中には、せっかくの機会なので講師とさらに意見交換がしたい、さらに質問もしたいという方がおられるのではないかと

の考えから企画した。意見交換会には公共図書館職員、大学図書館職員、司書課程教員、司書教諭課程教員等11名の参加があり、予定の時間をはるかに超えて話が弾んだ。会が参加者の人的つながりのきっかけとなり、またある種の充実感のようなものを感じていただけたら、企画の意図は果たされたと考えている。